

都市再生整備計画 事後評価シート

かけがわえききた
掛川駅北地区

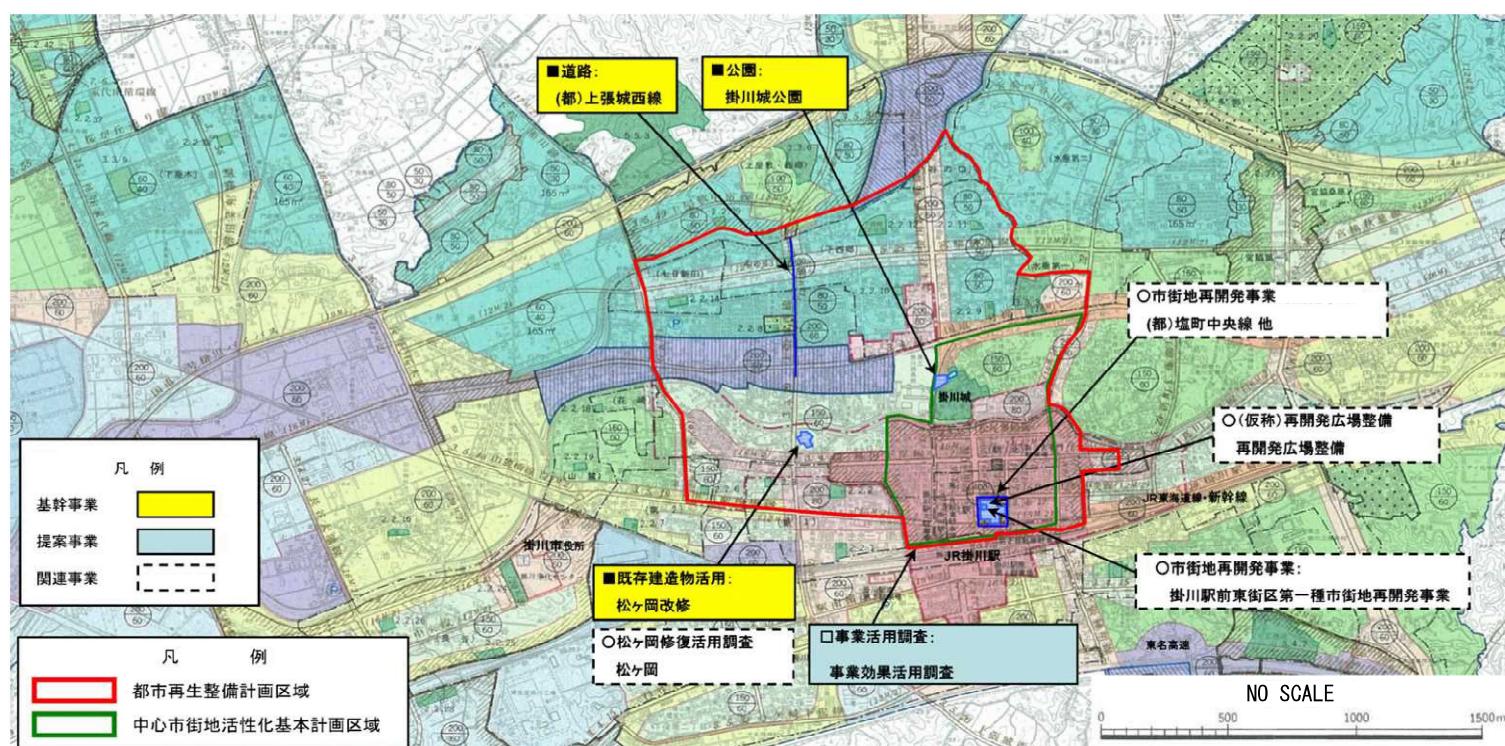
令和2年 3月

静岡県掛川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	掛川市	地区名	掛川駅北地区	面積	198 ha				
交付期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	435 百万円	国費率	0.4				
事業名											
当初計画に位置づけ、実施した事業											
1) 事業の実施状況	基幹事業	既存建造物活用: 松ヶ岡改修、公園: 掛川公園、道路: 上張城西線	削除/追加の理由								
	提案事業	地域創造支援事業: 掛川銀行復元、地域創造支援事業: 松ヶ岡修復、地域創造支援事業: 掛川駅前広場	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	基幹事業	公園: 掛川公園	事業箇所名について都市公園法に基づく名称と異なるため、「掛川公園」を「掛川城公園」に改める。								
	提案事業	地域創造支援事業: 掛川銀行復元	名称の変更のみであり、指標や数値指標への影響はない。								
	当初計画から削除した事業	地域創造支援事業: JR掛川駅駅前広整備	掛川市では平成29年度末の認可に向け歴史的風致維持向上計画を策定中であり、市内にある歴史的風致についてはこの計画に基づいたまちづくりを進めることとなった。掛川銀行復元をはじめとした提案事業については、この計画の中で平成32年以降に実施することとし、既計画の中では事業を取り止めることとする。								
	新たに追加した事業	地域創造支援事業: 松ヶ岡修復	事業の削除に伴い、当初見込んでいた掛川銀行のオープン時期が目標年度以降に変更となり、施設来訪者数への影響が考えられるため、指標1を下方修正した。								
	基幹事業	公園: 掛川城公園	直接的な影響はないものの、掛川駅利用者による来訪者数や地区におけるにぎわいへの影響が考えられるため、事業の削除に伴い、指標1及び指標2を下方修正した。								
	提案事業		松ヶ岡の付加機能を向上させる事業の削除より、施設来訪者数への影響が考えられるため、指標1を下方修正した。								
	交付期間の変更	当初 平成27年度～平成31年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	松ヶ岡の付加機能を向上させる事業の削除により、施設来訪者数への影響が考えられるため、指標1を下方修正した。							
	変更 なし		-								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期間			
	指標1	歴史・文化施設への来訪者数	人/年	150,000	H25	166,500	H31(R1)	モニタリング 評価値 181,108	○ あり なし	複数施設の合計値を計測している。松ヶ岡、掛川銀行(来訪者数見込み3,000人)が開業前であるものの、目標値を上回った。掛川城公園の駐車場や広場の整備により多くの方が訪れるやすくなった。松ヶ岡では、新しいイベントが多く行われ、これまでない活用や新たな人のつながりが生まれ、交流促進が図られた。	-
	指標2	文化拠点形成への満足度	%	63	H26	70	H31(R1)	モニタリング 評価値 86	○ あり なし	広場など、憩い、歴史を感じらるるスポットが整備された。広場では「掛川ひかりのオブジェ」と星の名札式開催などにも活用されている。また、駐車場は、隣接する掛川西高校に開設した利用を見られる。これらのこととが、地区的満足度が上昇した要因と推測できる。	-
	指標3	上張城西線歩行者数	人/日	57	H25	63	H31(R1)	モニタリング 評価値 173	○ あり なし	上張城西線は、近隣小学校の通学路に指定されているほか、徒歩で買い物に出かける高齢者も多めで使用する。歩道拡幅や居住性の高い施設への変更、ハイアフリーラー化等による歩行環境の確保され、新たな歩行空間としての認識が得られたことから、歩行者数増加に寄与していると推測する。	-
	指標4	にぎわい空間の認知度(まちに活気がないと感じる方の割合)	%	83	H26	80	H31(R1)	モニタリング 評価値 63	○ あり なし	再開発事業等により利便性が向上し地区の人口や来訪者数が増え、様々なイベントも行われるようになつたことから、まちに活気がないと感じる方の割合が縮小したと考えられる。	-
3) 他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期間			
	その他の数値指標1	安全、安心な歩行ネットワークの確保についての実感度	%	-	-	69	○ あり なし	従前値との比較は出来ないが、上張城西線の歩道整備により、アクセス性の向上、掛川駅北地区の歩行・自転車通行の利便性が向上した。このことから、安全、安心なネットワーク確保について一定の評価が得られたと言える。	-		
	その他の数値指標2	まちの魅力についての実感度	%	-	-	57	○ あり なし	従前値との比較は出来ないが、松ヶ岡の活用検討における地域住民の意識の高まり、駐車場や休憩スポットの整備による利便性向上などにより、まちの魅力について一定の評価が得られたと想われる。	-		
4) 定性的な効果発現状況	その他の数値指標3	まちなかでのイベント開催数	回/年	21	H25	117	○ あり なし	歩行ネットワークの強化や駐車場整備、休憩スポットの整備などにより、以前より気軽にまちなかに来訪できるようになった。また、市民団体からは「ハート面においても、様々な活動をやすくなつたと意見があつた。これらのことから、活気なイベント開催が図られたと推測される。	-		
	・掛川城公園の駐車場や広場の整備により、掛川城周辺の散策の利便性と快適性が向上した。 ・上張城西線の歩道拡幅により逆川遊歩道へのアクセス性が向上するとともに、通学路における安全な通行が確保された。 ・松ヶ岡活用調査では、委員会や協議会の開催により、活発な議論が展開された。 ・市民アンケートでは、今後の地区内の歴史的資源の活用に期待する意見や、新たに発生した課題に通じる意見が多く寄せられ、市民のまちづくりに対する意識の高まりが感じられた。										
	実施内容										
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。								
	住民参加プロセス	掛川駅北地区のまちづくりに関するアンケート調査の実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。								
	持続的なまちづくり体制の構築	①「掛川市歴史的風致維持向上計画」の策定 ②松ヶ岡意見聴取体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた。 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した。 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった。								
			市は体制を維持し、今後の活用に資することとする。								

様式2-2 地区の概要

掛川駅北地区(静岡県掛川市) 都市再生整備計画事業の成果概要															
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値		目標値		評価値									
【大目標】 歩行文化・スローライフ・報徳文化に育まれた地域の再生 【小目標】 ① 歴史的資源の保存とそれを活かした文化拠点の形成、交流の促進 ② 歩行ネットワークの強化による回遊性の向上 ③ 中心市街地におけるにぎわいづくり	歴史・文化施設への来訪者数	人/年	150,000	H25	166,500	H31(R1)	181,108	H31(R1)							
	文化拠点形成への満足度	%	63	H26	70	H31(R1)	86	H31(R1)							
	上張城西線歩行者数	人/日	57	H25	63	H31(R1)	173	H31(R1)							
	にぎわい空間の認知度 (まちに活気がないと感じる方の割合)	%	83	H26	80	H31(R1)	63	H31(R1)							
 <p>■基幹事業：道路 (都) 上張城西線</p>		 <p>■道路： (都) 上張城西線</p> <p>■公園： 掛川城公園</p> <p>○市街地再開発事業 (都) 塩町中央線 他</p> <p>○(仮称)再開発広場整備 再開発広場整備</p> <p>○市街地再開発事業： 掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業</p> <p>■既存造物活用： 松ヶ岡改修</p> <p>○松ヶ岡修復用調査 松ヶ岡</p> <p>□事業活用調査： 事業効果活用調査</p> <p>凡例 基幹事業 提案事業 関連事業</p> <p>凡例 都市再生整備計画区域 中心市街地活性化基本計画区域</p>													
 <p>■基幹事業：既存造物活用 松ヶ岡改修</p>		 <p>■基幹事業：公園 掛川城公園 ・時間貸駐車場 ・広場</p>													
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 掛川城公園の駐車場や広場の整備により、掛川城周辺における利便性やアクセス性が向上した。今後は、来訪者が点在する資源を回遊しやすくなるよう、誘導促進や快適な移動空間の確保を図る。 松ヶ岡を有効に活用するための計画が立てられた。計画にあたっては、委員会や協議会の開催により、活発な議論が展開され様々な方の意見を取り入れながら検討を行うことができた。松ヶ岡の活用検討内容をもとに改修工事が進められているため、今後も工事を進め、資源の活用を図る。 上張城西線の歩道拡幅により安全な歩行空間が確保されたことで、緑の精神回廊の南北歩行ネットワークが強化された。 地区内交流人口の増加に伴い、交通安全対策や防犯対策の強化が求められる。 地区内の事業や資源に関する市民へのより積極的なPRが求められる。 														
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 来訪における利便性を高めるため、駐車場や掛川駅と歴史的資源等を繋ぐルートにおけるさらなるアクセス性の向上、その周辺における快適空間維持を図る。また、自分が住む町の資源を価値があるものとして次に引き継いでいくため、住民意識の改善を図る。 中心市街地の一層のにぎわい創出を目的に、空き家や空きビルなどの積極的な活用や、イベント開催、情報発信等において、市民活動をしやすい環境形成を図る。 点在する歴史的資源の回遊性を高めるため、休憩スポットや案内など、周辺を散策したり見学したりするための誘導ツールの充実を図る。また、資源や事業に関しては、市民へのPRを強化し、認知度向上や事業の透明性確保に努める。 地区内のみならず地区外の方にとっても来訪しやすい場所としての意識改善を図るため、回遊エリアでの交通安全や防犯への対策を強化とともに、車両の円滑な移動を確保する。 														